

平成29年12月21日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時30分
閉会 午後 4時35分

- 2 出席委員
- | | |
|-----|----------|
| 田 中 | 教育長 |
| 関 | 教育長職務代理者 |
| 吉 岡 | 委 員 |
| 江 口 | 委 員 |

- 3 欠席委員
- | | |
|-----|-----|
| 若 本 | 委 員 |
|-----|-----|

- 4 出席事務局職員
- | | |
|-----|-------------------|
| 山 本 | 教 育 部 長 |
| 片 山 | 教育総務課長 |
| 土 岐 | 学校教育課長 |
| 河 原 | 社会教育課長兼中央公民館長 |
| 大 石 | 学校給食センター所長 |
| 黒 川 | 文化資料館長 |
| 難 波 | 教育研究所長 |
| 中 川 | 教育総務課副課長兼総務係長事務取扱 |

- 5 傍聴者
0名

- 6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

平成29年11月22日に開催した定例会の会議録について承認した。

（３）教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・地域ふれあいサイエンスフェスタ２０１７には、５，０００人を超える参加があった。京都大学をはじめ大学・高校、企業、ボランティアの協力で５８ブースが設けられた。工夫・改善しながら継続していきたい。
- ・セーフコミュニティ（ＳＣ）・インターナショナルセーフスクール（ＩＳＳ）再認証事前審査として曾我部小学校に審査員（２人）が来校された。講評では高い評価を得ているが、課題は成果をどう波及させていくかである。来年度の再認証につなげていきたい。
- ・学校規模適正化東輝・詳徳中ブロック協議会を開催し、取組経過や説明会での意見などの報告を行った。実施時期の目標を定めるべきとの意見があり、準備期間等を考慮し平成３２年４月実施を目指して取り組むこととした。
- ・第３５回女性集会を開催には、市内に団体等から多くの参加があった。
- ・市議会１２月定例会が２２日に閉会する。一般質問で学校規模適正化、学校図書館司書、中学校給食、サイエンスフェスタ等について質問があった。
- ・市立幼稚園子ども展が開催された。園児が力をつけていることが感じられた。保護者や地域へ情報発信の充実を図っていきたい。
- ・別院中学校生徒等が育てた葉ボタンの贈呈を受けた。
- ・亀岡市医師会とのこん談会が開催され参加した。インフルエンザ等の罹患状況等の共有が容易に行えるように調整していくこととしている。
- ・京都亀岡ハーフマラソン大会には３，９００人を超える出場を得て盛大に開催された。秋本治先生をスターターに、谷川真理選手を招待選手に迎えた。亀岡の食等の販売ブースも盛況であった。
- ・平成３０年成人式を控え実行員委員会メンバーとこん談会を行った。
- ・部落解放同盟亀岡市協議会こん談会、天川支部こん談会が開催され、不登校、いじめ、学力対策等についてこん談した。ＳＮＳ等を活用した相談を実施されるので連携を図りたいとの提案を受け協議を進めたい。
- ・小・中・義務教育学校、幼稚園（第９回）校園長会議を開催した。
- ・西部４町自治会役員とのこん談会が開催され参加した。
- ・自治会連合会こん談会が開催され参加した。

◎国・府等の関係

- ・府立農芸高校農芸祭が開催され参加した。早朝から多数の参加があった。
- ・マーチングフェスティバルが開催され、城西小学校が参加した。亀岡市と宇治市からの参加となり、今後の開催等について検討したい。

○教育長報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

委 員 子ども展に参加した。力作ぞろいでとてもよかった。外部への情報発信の充実が重要と感じた。

学校規模適正化の実施時期を明示するようという意見は協議会の委員からの意見か。

教育長 協議会委員の発言であった。

委 員 サイエンスフェスタに参加した。多くの方が参加され評価も高いと感じた。内容等の充実も素晴らしく継続されることを期待する。

委 員 西部４町の自治会関係者が亀岡川東学園を見学されることは重要である。

実現するよう配慮いただきたい。

教育長 ＰＴＡ等と連携していただくことを期待している。

委 員 学校規模適正化とマッチングすることが最適である。

（４）議 事

議案番号	件 名
第１６号議案	亀岡市立小学校、中学校及び義務教育学校児童生徒の就学に関する事務処理規程の一部を改正する告示について
第１７号議案	亀岡市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

○第１６議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第１６議案は、児童生徒の入学すべき学校区を指定する規則を定めており、入学期日等について通知する様式を改正すること及び義務教育学校である亀岡川東学園に係る６年生から７年生への進学、あるいは他の小学校から亀岡川東学園の７学年に進学する際に通知する様式等を定めるものである。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委 員 亀岡川東学園では前期課程の卒業式を行うのか。

事務局 卒業ではなく、学校内で修了式を行うこととされている。

委 員 保護者等への案内はないのか。

事務局 ６年生保護者へは案内すると理解している。

第１６号議案について、原案どおり承認した。

○第１７号議案について教育部長が議案説明を行った。

- ・第17議案は、放課後児童健全育成事業、いわゆる放課後児童会の充実を進めており6年生までの拡大を図っている。

平成30年2月から亀岡小学校で拡大し6年生までを対象に実施しようとするものである。

○説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

委員 亀岡小学校は学校内か学校外かどちらで実施するのか。

事務局 学校内で行うことで調整できた。

委員 他の小学校の見込みはどうか。

教育長 つつじヶ丘小学校は次年度中に可能と考えている。安詳小学校は学校規模適正化が進展しないと難しい。学校外での場所確保が課題となっている。

千代川小学校も場所の確保が課題である。

委員 安詳小学校の場合、東部文化センター等の活用はできないのか。

事務局 安全性の問題や校区が異なることから課題が大きいと考えている。

教育長 千代川小学校区内で区画整理が計画されており、その対応も合わせて考える必要がある。

第17号議案について、原案どおり承認した。

(5)報告事項

①亀岡市議会12月定例会一般質問・答弁要旨について

②平成29年度京都府中学校学力診断テスト結果について

③ふるさと体験学習事業“京都亀岡 保津川下り”について

④安全・安心まちづくり推進協力・連携協定について

⑤平成30年亀岡市成人式について

⑥第35回亀岡市女性集会実施報告について

⑦平成30年2月教職員研修講座のお知らせについて

○教育長報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<亀岡市議会12月定例会一般質問・答弁要旨について>

委員 東西別院地域の学校規模適正化はどのような進展状況か。

事務局 各PTAへの説明は終了している。両自治会関係者への説明ができていない状況である。今日も西別院町自治会役員に面会してきたが他の役員等への説明まで至っていない。

地域の声をしっかり聞きながら丁寧に進めていくといった主旨で答弁したところである。

他の施策として移住促進等に取り組まれており、そのためには中学校が不可欠だとされている。

教育長 実際に移住（転入）による児童が複数名いると聞いている。

東別院町の取組み状況も含めて調整する必要がある。

委 員 学校新設の質問があった。新設すれば全てが解消するといった主旨だと理解したが、児童生徒数が増加する学校と減少する学校があるので規模の適正化を行おうとしているものであり、新設することで課題が解消するものではないと考える。

新設しようといった議論が過去にあったのか。

事務局 検討段階で新設したらどうかといった意見があったが新設は困難であるとされた。

<ふるさと体験学習事業“京都亀岡 保津川下り”について>

委 員 市外の中学校に通学する生徒の参加はあるのか。

事務局 昨年度は13人の参加があった。

一昨年度も13人の参加があった。

(6) その他

①保津川筏流しについて

次回の定例教育委員会を平成30年1月16日に開催することとした。

(7) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上